

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション医学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期 6,7時限他	教室名	401
担 当 教 員	小坂将史	実務経験と その関連資格	社会医療法人弘道会内の病院や老人保健施設等にて、言語聴覚士としてリハビリテーション業務に従事していた。			
《授業科目における学習内容》						
リハビリテーション医学の内容を理解し、検査、評価、各種疾患のリハビリテーションや治療等、臨床に繋げる基礎知識を取得する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期テスト100%(試験素点が60点以上を合格とする)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業は資料を配布し、PCスライドで授業を行う、また適宜小テストを行う 参考図書:言語聴覚士テキスト-第3版- 医歯薬出版株式会社						
《授業外における学習方法》						
事後学習として、授業のまとめをしっかりと押さえたり、授業内で実施される確認問題を適宜見直したりして、知識の定着に努めて下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
リハビリテーション医学は医療の基礎領域として、ほとんどの診療科と関わりを持つ科目です。 医療業界で働くための、基盤となる知識を身につけるという目的意識を持って、講義に臨んでもらえたらと思います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーション医学の全体像を理解し、リハビリテーションの種類および、医療の概要(急性期、回復期、維持期)について説明できる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	特になし	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学(総論)について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経学的評価の概要を理解し、ROMtest、MMT、Brunnstrom stageの概要について述べる事ができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学の診断と評価を理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーション医療に携わる主な専門職とその役割について説明できる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション医学の治療(総論)について学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害・頭部外傷の様々な病型について説明できる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	脳血管障害・頭部外傷などについて学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害・頭部外傷のリハビリテーションの概要を述べる事ができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく	
		各コマにおける授業予定	脳血管障害・頭部外傷のリハビリテーションについて学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経筋疾患のリハビリテーションの概要を述べることができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	神経筋疾患などについて学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄損傷、骨・関節疾患、呼吸器疾患のリハビリテーションの概要を述べることができる	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	事前学習として、参考図書である、言語聴覚士テキストの「リハビリテーション医学」の該当項を一読しておく
		各コマにおける授業予定	脊髄損傷や骨・関節疾患や呼吸器疾患などについて学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーション医学の重要項目について理解し、多様な側面から考察する力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> PCスライド 配布資料 確認問題 	特になし
		各コマにおける授業予定	第1回～7回の講義ノートや配布資料をもとに授業内容を復習する。また、重要項目の知識の確認問題を実施する。		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			